

市長から 市民のみなさんへ 37



山陽小野田市長 白井 博文

市民まつりへのご参加、ご協力 ありがとうございました

10月28日、埴生漁港での「お祝い“夢花火”」にはじまった第1回「山陽小野田市民まつり」は翌日、サッカー交流公園に場所を移しての本祭で大成功のうちに終わることができました。開催にあたり、ご参加、ご協力いただいたすべての方にこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

今年の「お祝い“夢花火”」には、小野田地区から多くの方が見物に訪れたと聞いています。夏とは違った“冬の花火”の壮さに感動されたことでしょうか。このイベントは、旧山陽町時代にはじまり、今年で9回を数える恒例行事として定着したのですが、当初から中心となって企画運営を行ってきた山陽商工会議所の青年部のみなさんの熱意と心意気には頭が下がる思いがします。改めて感謝申し上げたいと思います。

本祭では、グラウンド中央に設置された巨大ステージでの演奏、演技に続き「日本一の夢もちまき」を盛大にとりおこなうことができました。今まで日本一の岩手県西和賀町の記録を破ったことになるのですが、ポケットや袋にいっぱいのおもちを詰めて明るい表情で帰途につかれる方々の顔を見ると、市民まつりを開催できて良かったという想いととも、合併市町の一体感の醸成という意味で市民まつりの果たす役割の大きさを再認識したところです。とはいえ、課題も2、3ありましたので、反省すべきところは反省し、来年以降

に生かしていきたいとも考えています。

また、たくさんの方がボランティアとして祭りを支えていただいたことについてもたいへんうれしく思います。今回の市民まつりに限らず、例えば、先日開催された国民文化祭の小倉百人一首の全国大会など、市内の様々なイベントにボランティアの方々が活躍されています。誰かの役に立つことに喜びを感じる方が以前に比べ増えてきているのかもしれませんが、今まで全く動かなかった大きな塊のようなものが、ごろ〜んと回転をし始めたような実感を覚えます。言い換えるなら、まちの胎動の兆しを感じることができるようになったということかもしれません。

「脳いきいき講座」はじまりました

2ページにありますように「脳いきいき講座」がスタートしました。小学校児童を対象にした「生活改善・学力向上プロジェクト」の取組みが第1段階とすれば、高齢者を対象にした今回の講座はすべての年齢の人の心と体を元気にしたいという「脳いきいきプラン」の第2段階といえるものです。今回、参加された方、みなさんが「楽しかった」という感想をもっていただいたようです。今後、様々な年齢層の方々が参加していただくことを期待しているところです。

ボランティアでこの講座の講師を引き受けていただいた方々にも感謝申し上げます。みなさんの熱意が受講者に伝わり、この講座を通じて「脳いきいき」の輪が地域で、職場でと、市内にどんどん広がっていく日も近いかもしれません。

「脳いきいき講座」に関心をお持ちになった方は、ご遠慮なく教育政策室（☎82-1208）までお問い合わせ下さい。



対話の日

11月22日(水) JA後潟出張所
12月14日(木) 鴨庄東自治会館
12月27日(水) 横土手自治会館
※19:00から 1時間30分程度です



▲「脳いきいき講座」のようす（11月1日：市民館）